

検討委員会の概要

検討委員会の概要

■ 検討委員会の開催趣旨

背景

- 東京国際空港(羽田空港)では、空港のライフラインを効率的に管理するための共同溝が配置されている。共同溝は公益共同溝と照明共同溝に分類されるが、特に公益共同溝には、電力・通信等のケーブルや、ガス・上下水・地域冷暖房等の管路といった空港施設の機能確保に不可欠なライフラインが収容されている。
- 羽田空港の共同溝は、古い箇所では竣工から35年以上経過しており、老朽化や沈下が進行している状況である。また、共同溝の耐震性能は、整備時点の基準に基づいているため、現行基準に対して耐震性能が確保できていないことも確認されている。

委員会の目的

- 羽田空港は鉄道・道路トンネル等多くの埋設物があり共同溝の新設は課題が多いため、現在の共同溝の強靱化(耐震化・沈下・長寿命化対策)が必要となる。本委員会は、羽田空港における公益共同溝(以下、共同溝)を対象として、『強靱化対策の実施方針を策定』するため、共同溝の強靱化に係る課題、調査、対策工法等について技術的な観点から議論いただくことを目的に開催するものである。

■ 検討内容及び今後のスケジュール

